

森六
MORIROKU

**2021年3月期
決算説明会**

東証1部 4249

森六ホールディングス株式会社

2021年5月19日

1. 会社概要	P. 3
2. 2021年3月期の総括	P. 7
3. 重点取り組み	P. 11
4. 2021年3月期 決算	P. 20
5. 2022年3月期 見通し	P. 30
6. 参考資料	P. 35

1. 会社概要



森六ホールディングス株式会社とは

2021.3月期【連結】

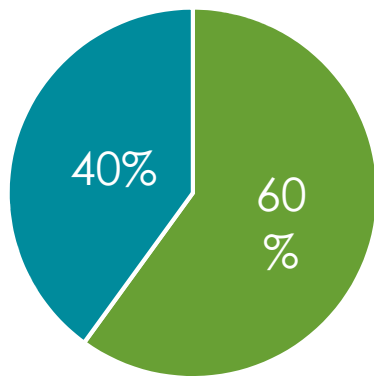
売上高

1,554 億円

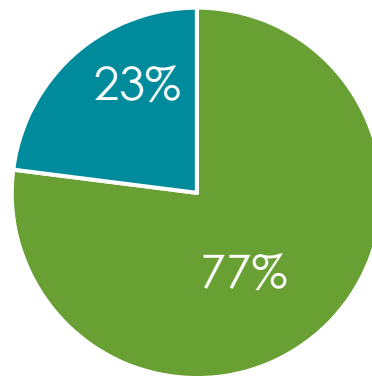
営業利益

56 億円

売上高



営業利益



■ 樹脂加工

■ ケミカル

1. 創業350余年のグローバル化学企業

徳島県で阿波藍の取り扱いからスタート

現在は15か国52拠点に展開、海外売上利率は約3分の2

2. 自動車部品メーカーと化学品商社、2つの事業を展開

両事業のシナジーを発揮し、原料調達から部品製造・納品まで一貫体制

3. ホンダ向け樹脂部品のトップメーカー 他の自動車メーカーへの販売も拡大中

樹脂加工製品事業の9割がホンダ向け

事業内容① 樹脂加工製品事業

四輪車の内外装部品を開発・製造・販売
設計開発から量産までの一貫体制を構築

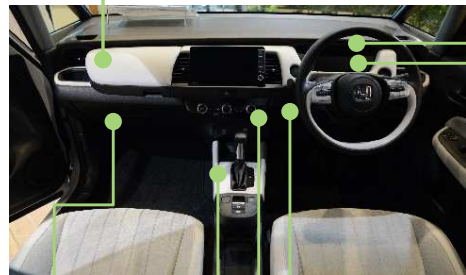
【内装部品】

- ◆木目調、金属調、高光沢、高輝度等、多種多様な意匠
- ◆より高い利便性や操作性を実現

インテリア加飾パネル
(フィルム素材)



インテリア加飾パネル
(表皮素材)



インストルメントパネルダクト



メーターバイザー



グローブボックス



センターローアカバー



インストルメントパネル
ローアカバー



インストルメントパネル
ローアカバー



【外装部品】

- ◆完成車両と一体化した外装の樹脂部品
- ◆高度な成形技術、塗装技術により、耐久性と合わせて非常に高い外観品質を実現

フューエル
フィルターリッド



ドア/フェンダープロテクター



バックドアガーニッシュ



サイドシル



カウルトップ



フォグランプカバー



フロントグリル

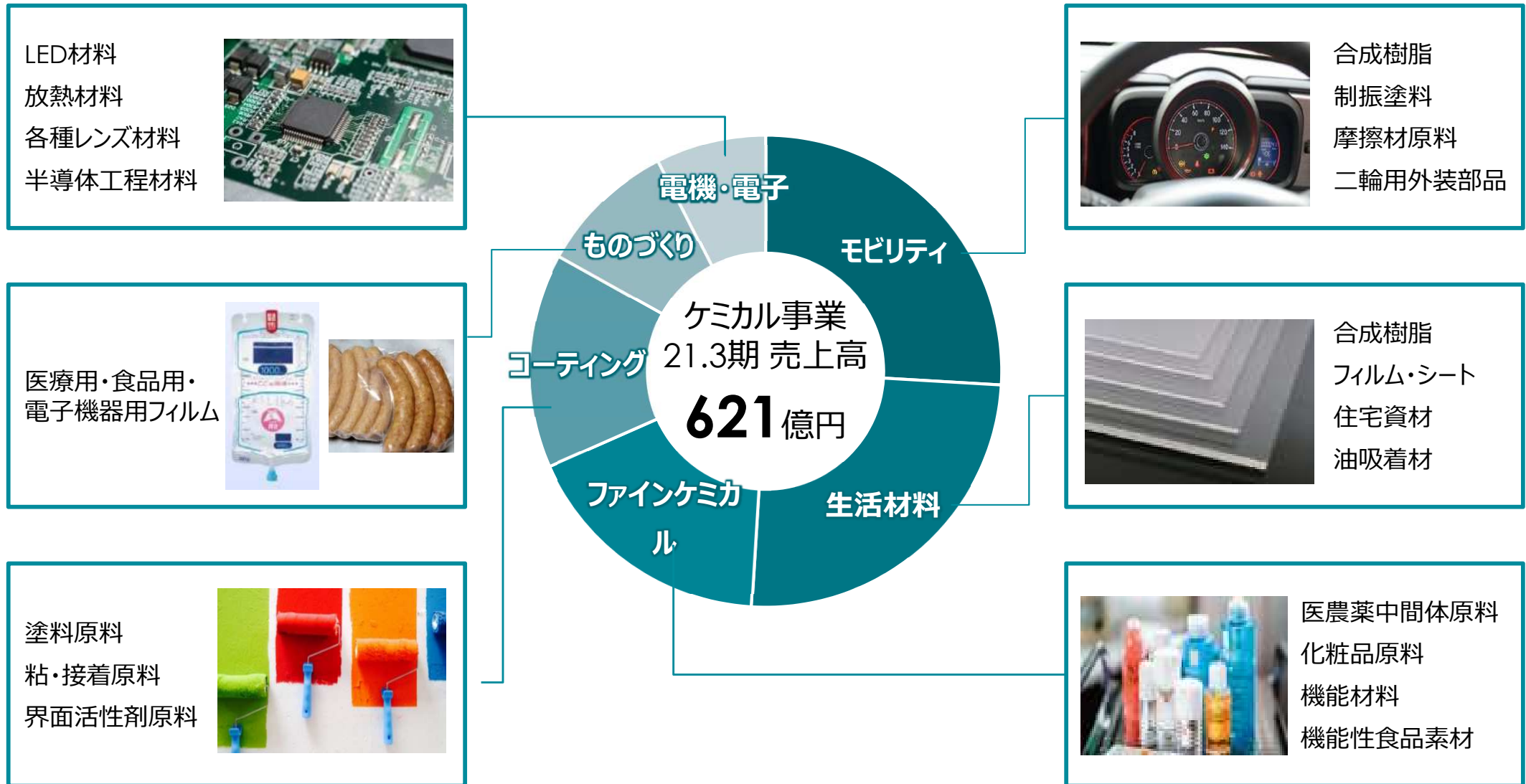


バンパー
ローアカバー



事業内容② ケミカル事業

化学品スマート企業として幅広い分野で事業展開
きめ細かいサプライチェーンと長年の取引で培われた信頼関係



2. 2021年3月期の総括



業績ハイライト

売上高

1,554 億円

前年同期比 ▲9.0%

【公表予想 1,550億円】

営業利益

56 億円

前年同期比 +3.2%

【公表予想 56億円】

経常利益

55 億円

前年同期比 ▲1.3%

【公表予想 55億円】

当期純利益

3.7 億円

前年同期比 ▲89.3%

【公表予想 3億円】

2020年度 実績

- 売上高：新型コロナウイルス影響あるも、中国の急速な回復が全体を牽引
- 営業利益：北米を中心とした生産性向上と経費抑制により前年を上回る
- 経常利益：為替差損 2 億円を計上
- 当期純利益：新型コロナウイルスにかかる損失22億円、関東工場などの減損損失25億円
有価証券売却益11億円を計上

2021年3月期第4四半期において、**関東工場における減損損失 21億円**を計上

■背景：主要顧客の生産再編

- ホンダの生産拠点再編により、埼玉から鈴鹿へ生産が移管
- ホンダ狭山工場（埼玉県）の2021年度中の四輪生産終了が決定したことから、今期、減損損失を計上

■今後の戦略：売上の確保と、生産体質の継続的な改善

- 売上確保：ホンダ以外の自動車メーカーへの販売拡大（日産、SUBARU）
- 体質改善：良品率、塗装直行率など生産効率を改善
成形機削減、組立自動化、労務費削減

来期の事業黒字化および持続的な成長を目指す

2021年3月期の期末配当は30.00円、年間配当は50.00円

将来への投資や内部留保のバランスを考慮しながら、安定的・継続的な配当を実施



	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
一株配当	90.0円	94.0円	94.0円	50.0円
配当性向	20.2%	25.4%	44.2%	220.5%

3. 重点取り組み



スローガン

MOVING FORWARD WITH MI 400 (Moriroku Innovation 400)

環境変化を先取りし、新事業創造と変革に挑み続けることで
グローバル市場で勝ち抜ける経営基盤を構築する

MI 400	3つの基本戦略	細目	2021年3月期 取り組み
	I 経営基盤 強化	<u>上場企業としての企業価値の向上</u> <ul style="list-style-type: none"> グローバル経営基盤の強化を図ることで変革の加速を実現する 地球環境の変化への対応、豊かな暮らしづくりへの社会貢献 新成長事業育成への資源配分、ポートフォリオの最適化 	<p>「開発力」×「技術力」</p> <ol style="list-style-type: none"> 他の自動車メーカーへの販売拡大 部品領域の拡大 収益体質向上 グローバル事業強化 環境への取り組み ダイバーシティ
II 付加価値 創造	<u>モビリティ革新への新技術の事業化</u> <ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティへの革新技术・商品開発への挑戦（グループ横断での取組み・パートナー企業との連携） 		
III 事業構造 変革	<u>新スマート社会での新たな事業基盤の実現</u> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化を先取りした新たな生産技術の確立 グローバルビジネスの拡大 		

		中計最終年度 (2022.3月期)の目標値	2020.3月期 実績	2021.3月期 実績
業績目標 (2022年3月期) * 為替前提要件 1US\$ = 110円	売上高	2,000億円以上	1,707億円	1,554億円
	営業利益率	5.0%以上	3.2%	3.6%
	ROE	9.0%以上	5.4%	0.6%
安定した株主還元	株主総還元性向	30%以上	44.2%	75.3%
戦略事業投資	投資金額	中期3カ年 350億円	133億円	70億円

2020年度

ネガティブ影響

- コロナや顧客生産変動による受注の減少
- 社員の移動制限

ポジティブ影響

- 工場スタッフのトレーニング充実
- オンライン活用によるコスト削減
- 働き方改革の進化

今後に向けて

- 新型コロナウイルスや半導体不足の影響により、自動車生産台数の回復には、なお時間を要する見通し
- ポジティブな変化は残しつつ、中計に設定した成長戦略を継続
- 地球環境 (E)、社会課題解決 (S) に繋がる取組みを加速

2020年度 はVolkswagenと日産の追加受注が量産開始

2020年度 実績

Volkswagen【メキシコ】



TAOS



日産【日本】

Note



Rogue※



※北米 X-trail兄弟車

今後の量産開始予定

- 2021年6月
SUBARU BRZ【日本】
- 2021年中旬
日産 Ariya【日本】
- 2024年
AUDI Q5【メキシコ】

AUDI Q5【メキシコ】



※ 現行品：受注機種とは異なります

引き続き、他の自動車メーカーへの販売拡大を強化

車両の軽量化とともに、リビング化ニーズに合わせた自動車部品を開発

サステナビリティ ESG活動

E

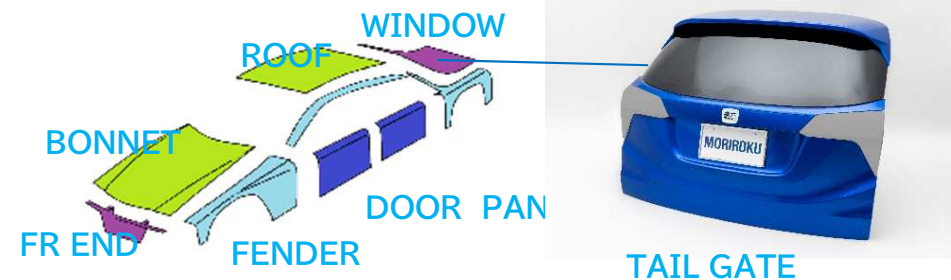
ドアライニング 採用車種の拡大

- N-ONEにおける採用を足掛かりに、小型車や**ASEAN地域での拡大**を推進
- 軽量化によるCO2排出削減に寄与



外装樹脂化ビジネスの拡大展開

- 樹脂テールゲートの基礎開発は完了、受注に向けた活動を継続
- **車体全体の樹脂化**に向けた研究も加速



自動運転、電動化に向けた製品開発

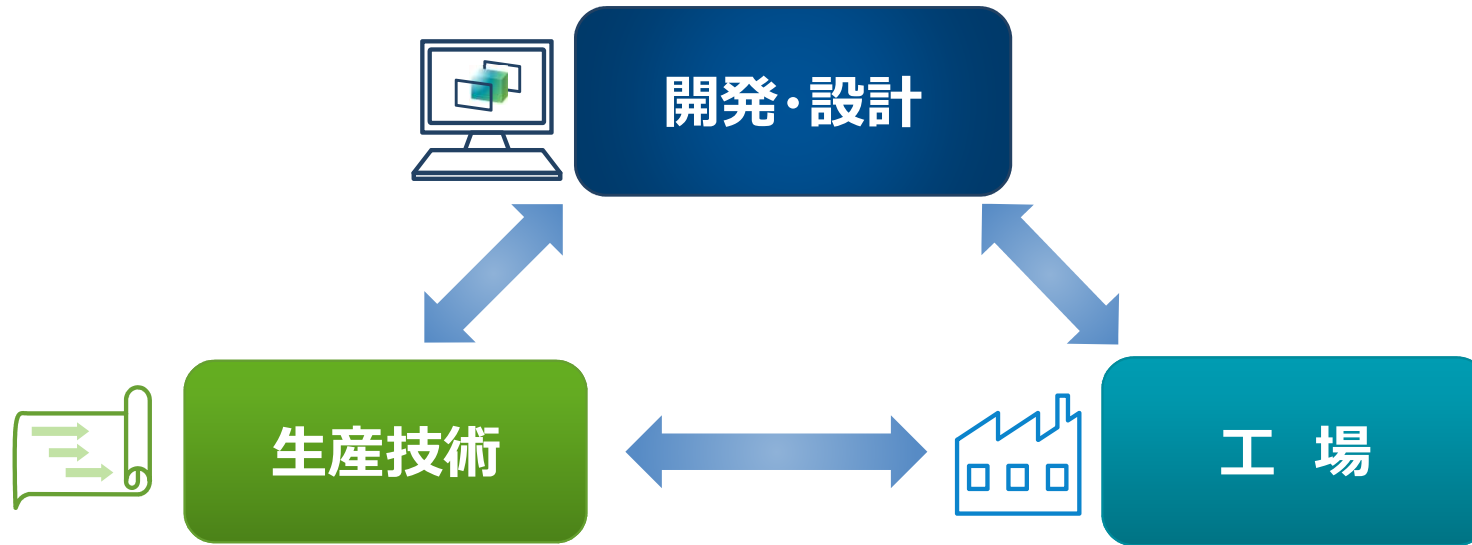
- **電装と加飾技術を融合**させた高付加価値部品の研究開発を推進
- 中国ではイルミ内臓部品を受注、今夏の量産に向けて最終段階



※ イメージ：実際の受注部品とは異なります

高付加価値部品を開発し、具現化するための組織体制を再構築

開発・設計、生産技術、工場の融合による収益最大化



開発・設計

生産技術

工場

新領域拡大に向けた商品開発

高収益体制の確立

高品質・高効率の追求

開発部／開発推進部 (新設)

生産企画部 (新設)

生産本部 (新設)／各工場

将来技術の研究と商品開発
開発初期で試験、金型仕様を同時開発することで効率化

開発・設計と生産を繋ぎ、高品質・高収益のものづくりを効率的に行うための
工程設計、生産標準化を担当

生産本部が全体を統括し、構築した高収益体制を具現化
顧客への安定供給維持の責任を担う

森六ケミカルズ インド法人の営業を開始

MORIROKU CHEMICALS INDIA PRIVATE LIMITED

(2021年2月：営業開始)

● 森六ケミカルズ アジア拠点

インド進出の意義

市場の高いポテンシャル

- 輸入面→内需拡大による原材料需要の増加
- 輸出面→中国と肩を並べる化学品の産地

注力分野

モビリティ

1996年にインド進出した樹脂加工製品部門と連携し、原料調達から製品の納品まで、一気通貫でサービスを提供

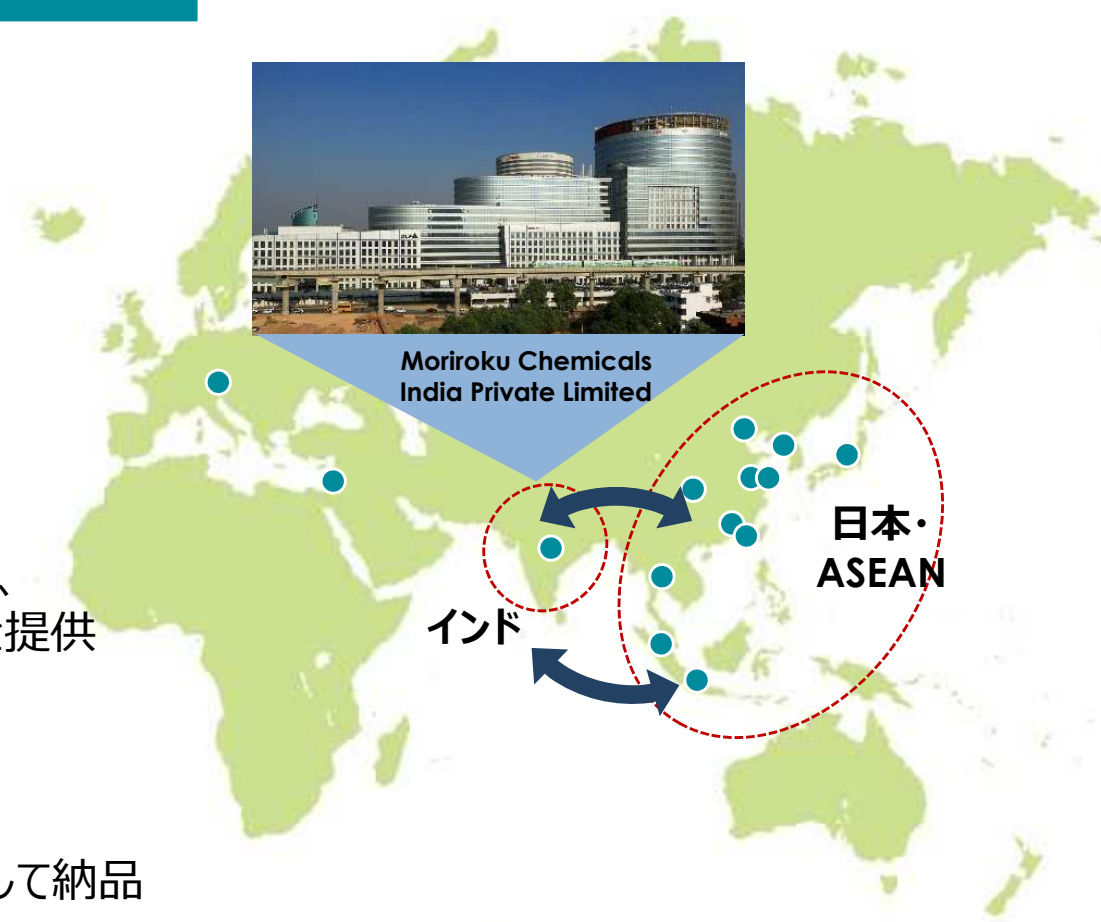
ファインケミカル

コーティング

塗料原料、農薬・医薬品の原料など
お客様のニーズに合わせて加工し、高品質にアレンジして納品



Moriroku Chemicals
India Private Limited



日本、ASEANとインドを繋ぐ新たなビジネスを展開

事業活動を通じて地球環境と社会課題の解決に貢献

サステナビリティ ESG活動

E

CO2削減に向けた取組みをグローバルに横展開



工場屋根にソーラーパネルを設置
(広州・タイ)

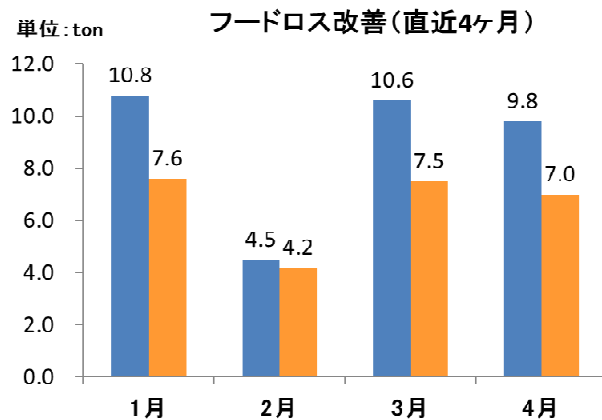


成形機の電動化や工場の
LED化を実施 (アメリカ)



社有車のEV化、
電気スタンドの設置 (日本)

フードロスの改善



昨年比
約**27%**の削減

- 中国・広州では食堂の事前注文のOA化を実施し、フードロスを低減

バイオプラスチックの車載適用研究



- ケミカルと樹脂加工のグループシナジーを発揮
- 温室効果ガスの削減やマイクロプラスチック問題の解決に向けて、森六だからできることに取り組む

「森六＝働きがいのある会社」を目指して施策を展開

サステナビリティ ESG活動

S

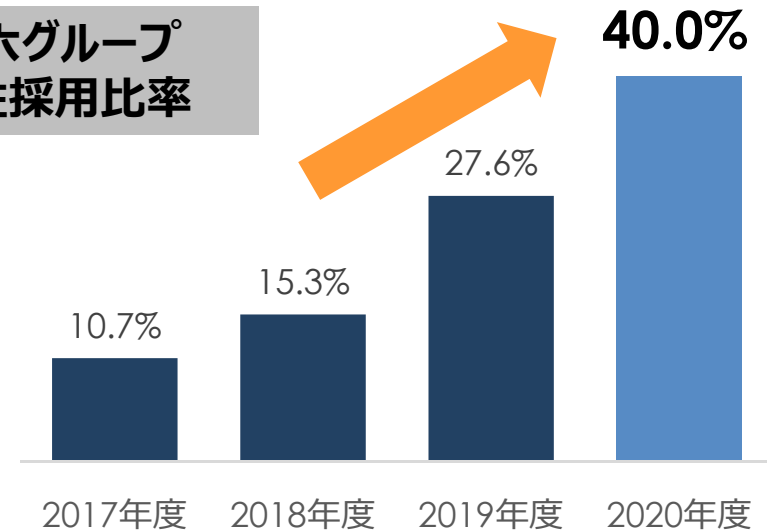
ダイバーシティ推進

- 女性や外国籍スタッフの活躍を積極的に推進（外国人管理職1名）
- 海外現地スタッフの本社採用も実施
- テレワーク・フレックス勤務など、柔軟な働き方も定着

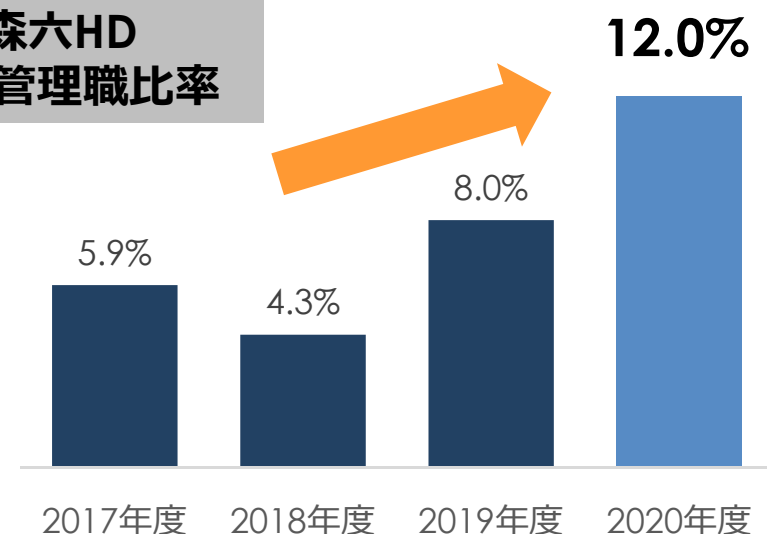


ダイバーシティ推進委員会の活動の様子

森六グループ 女性採用比率



森六HD 女性管理職比率



A grayscale photograph of a car's interior, showing the steering wheel with the Honda logo, the dashboard, and the center console. The image is semi-transparent and serves as a background for the text.

3. 2021年3月期 決算

生産性の向上により減産の影響を最小化

新型コロナウイルスによる損失および減損損失を特別損失に計上

(億円)

	20.3期 通期実績	21.3期 通期実績	増減額	増減率
売上高	1,707	1,554	△ 153	△9.0%
営業利益	54	56	1	3.2%
営業利益率	3.2%	3.6%	-	-
経常利益	56	55	0	△1.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	35	3	△ 31	△89.3%
EPS(円)	212.89円	22.68円	△ 190.21	△89.3%
一株配当(円)	94.00円	50.00円	△ 44.00	△46.8%
為替(円/\$)【期中平均】	108.7円	106.1円	△ 2.6	△2.4%
klあたりナフサ価格(円/kl) 【期中平均】	42,900円	31,300円	△ 11,600	△27.0%

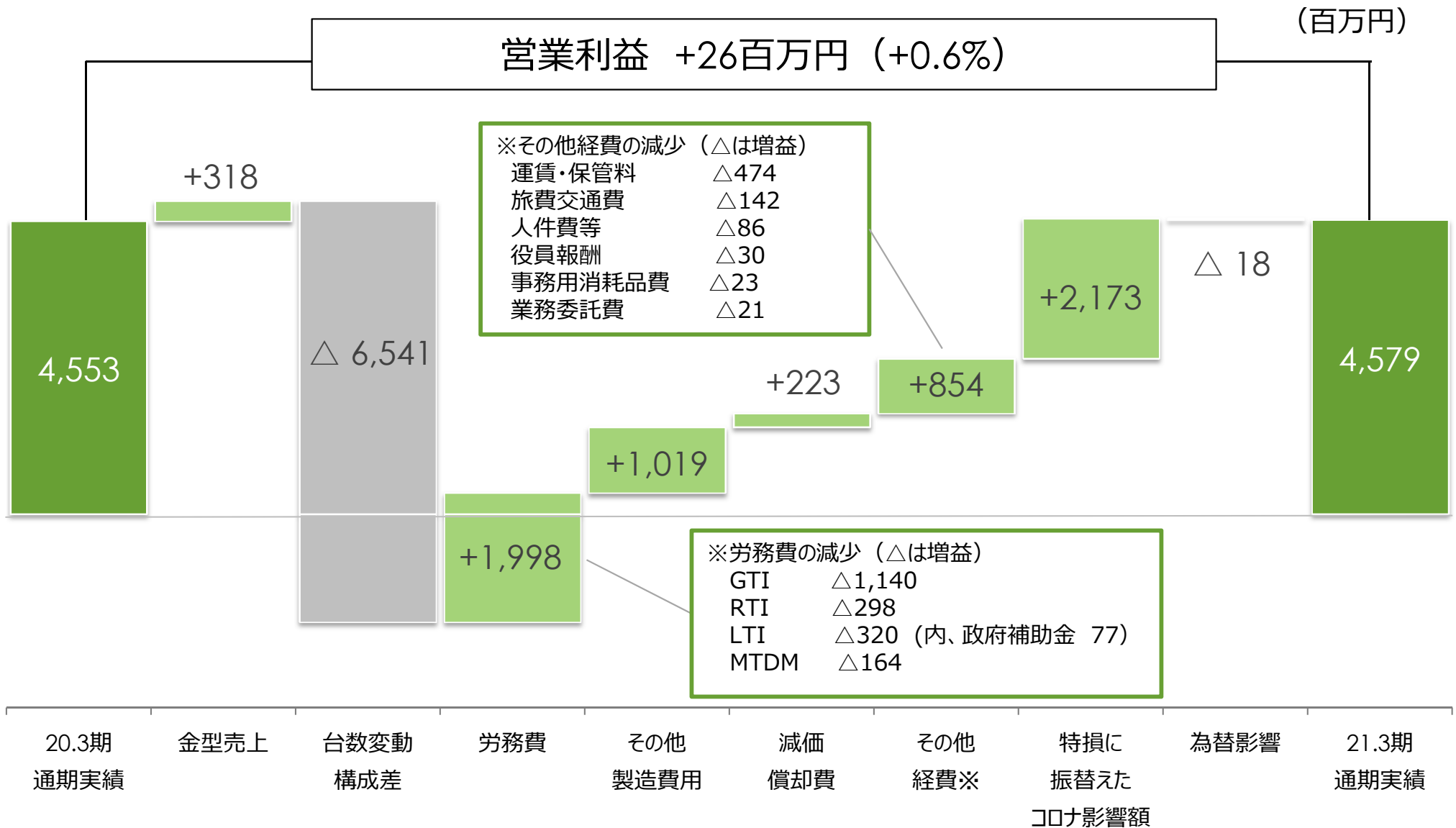
樹脂加工製品：中国の需要回復と北米の生産改善が寄与
ケミカル：ファインケミカル、電機・電子分野が復調

(億円)

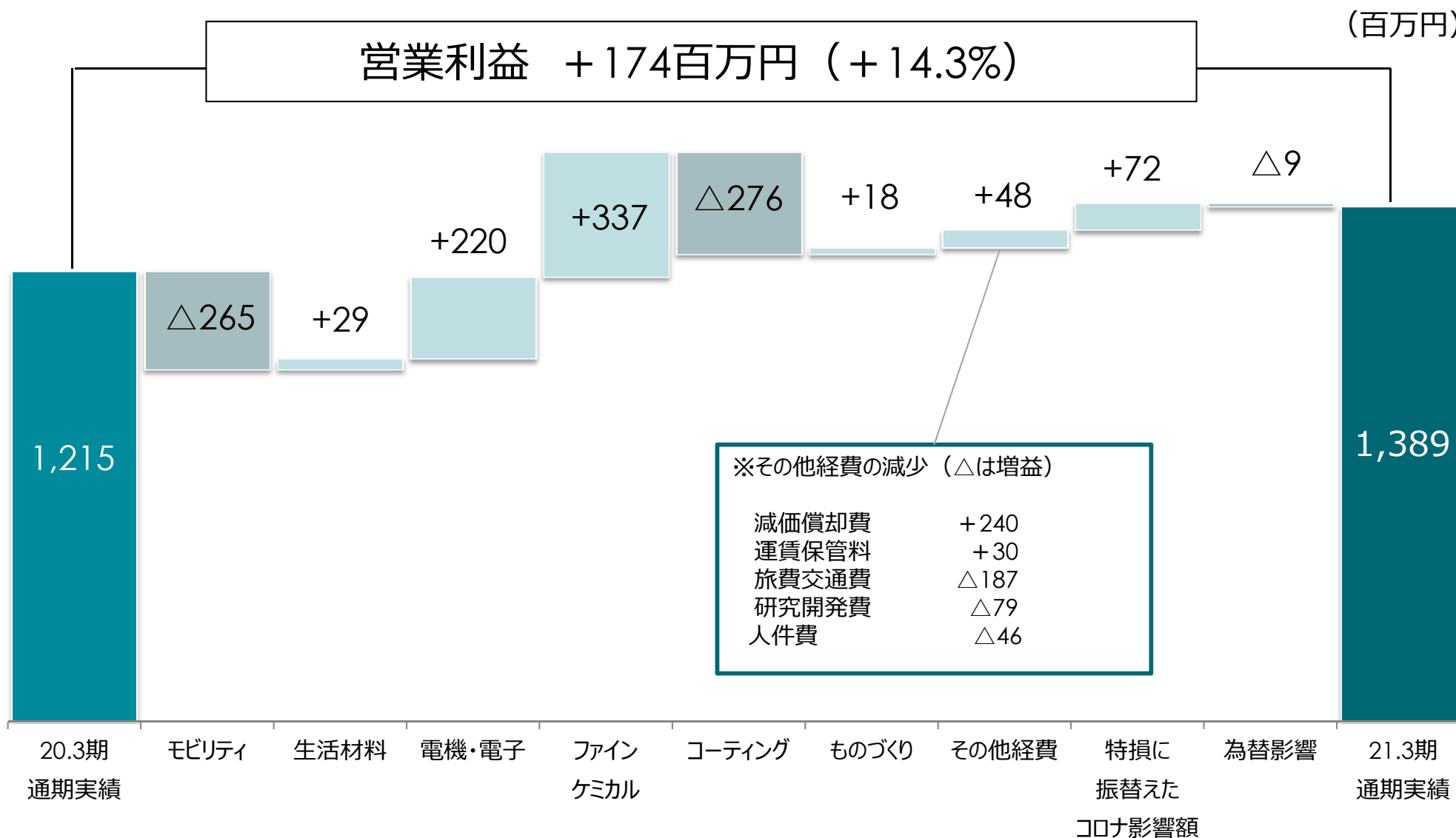
	20.3期 通期実績	21.3期 通期実績	増減額	増減率
売上高	1,707	1,554	△ 153	△9.0%
樹脂加工製品事業	1,069	933	△ 136	△12.7%
ケミカル事業	638	621	△ 16	△2.6%
営業利益	54	56	1	3.2%
樹脂加工製品事業	45	45	0	0.6%
ケミカル事業	12	13	1	14.3%
営業利益率(%)	3.2%	3.6%	-	-
樹脂加工製品事業	4.3%	4.9%	-	-
ケミカル事業	1.9%	2.2%	-	-

コロナと半導体不足の影響により台数・構成差で△65億円

工場停止期間中、従業員の一部解雇や時短対応を実施し、経費を抑制



ファインケミカルは、既存取引先への販売が拡大
 電機・電子は、テレワークや5G基地局拡大により需要増加



北米：生産体質の改善により通期の黒字化を達成

中国：売上、利益とも前期を上回る

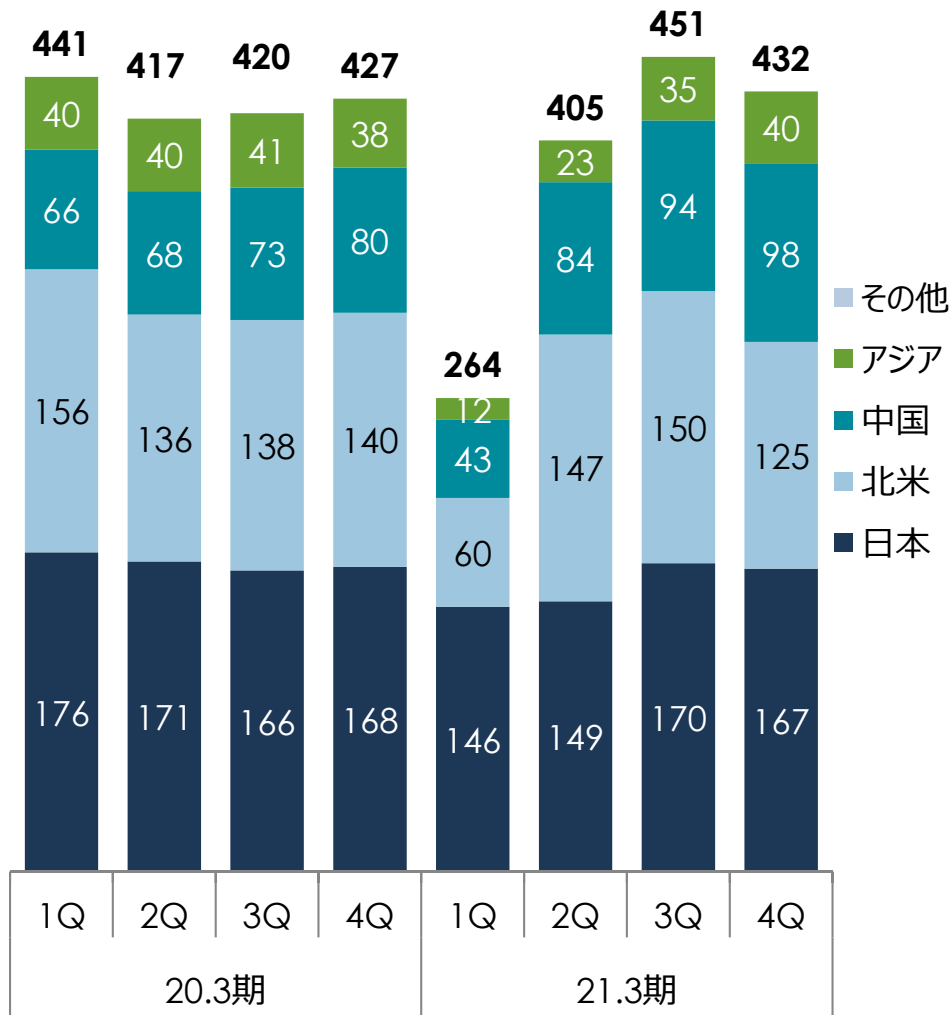
(億円)

	20.3期		21.3期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
		構成比率		構成比率		
売上高 計	1,707	100.0%	1,554	100.0%	△ 153	△9.0%
日本	683	40.0%	634	40.8%	△ 48	△7.2%
海外	1,024	60.0%	919	59.2%	△ 104	△10.2%
北米	571	33.5%	484	31.2%	△ 87	△15.3%
中国	289	17.0%	321	20.7%	31	11.0%
アジア	160	9.4%	112	7.2%	△ 48	△30.4%
その他	1	0.1%	1	0.1%	0	3.0%
営業利益 計	54	100.0%	56	100.0%	1	3.2%
日本	3	5.6%	△ 1	△2.3%	△ 4	△142.9%
海外	52	96.4%	58	103.5%	5	10.9%
北米	△0	△0.1%	6	12.2%	6	-
中国	39	71.2%	40	71.4%	1	3.5%
アジア	13	25.3%	11	19.8%	△ 2	△19.1%
その他	△0	△0.1%	0	0.1%	0	-
調整額	△ 1	△1.9%	△0	△1.2%	0	-

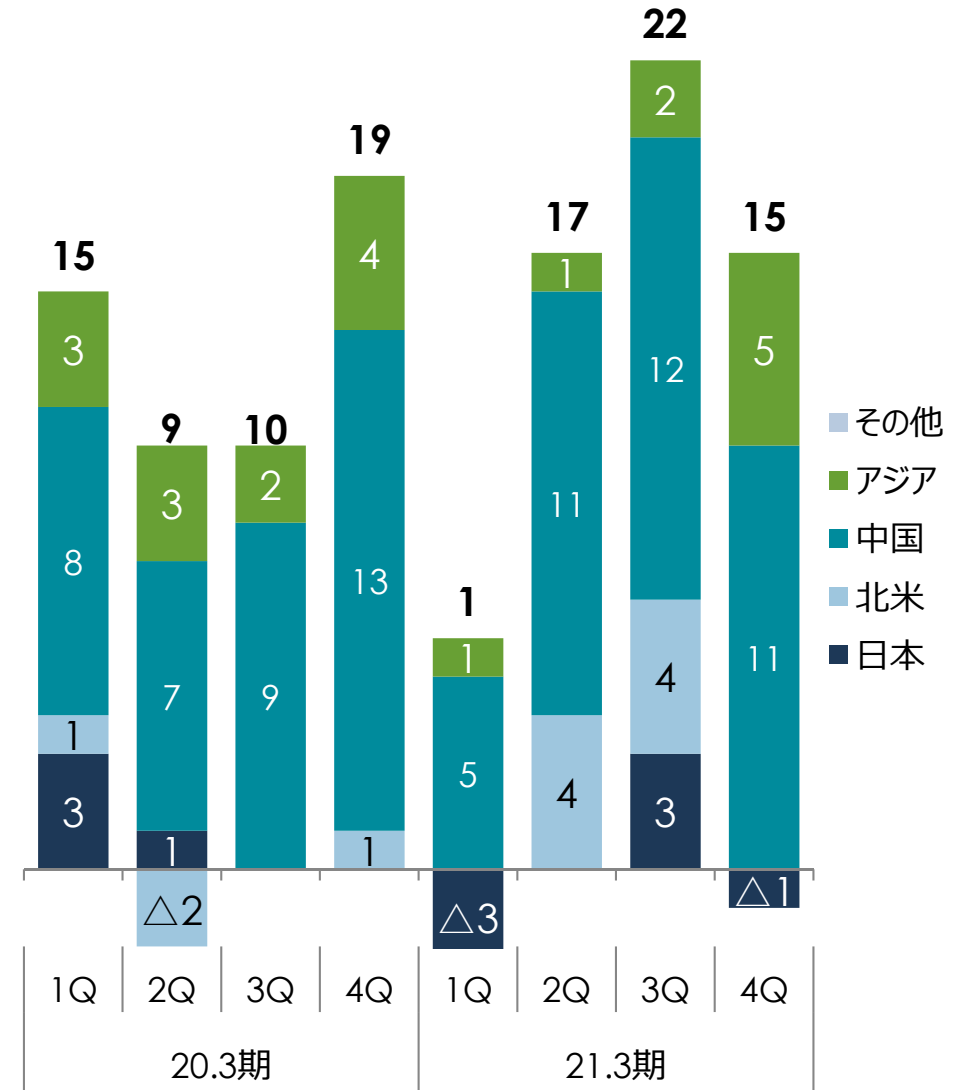
所在地別・四半期売上高、営業利益

3Qまでは順調に回復したが、4Qは日本および北米で半導体不足による減産が影響

所在地別・四半期売上高（億円）



所在地別・四半期営業利益（億円）



2021年3月期 決算 貸借対照表 (概略)

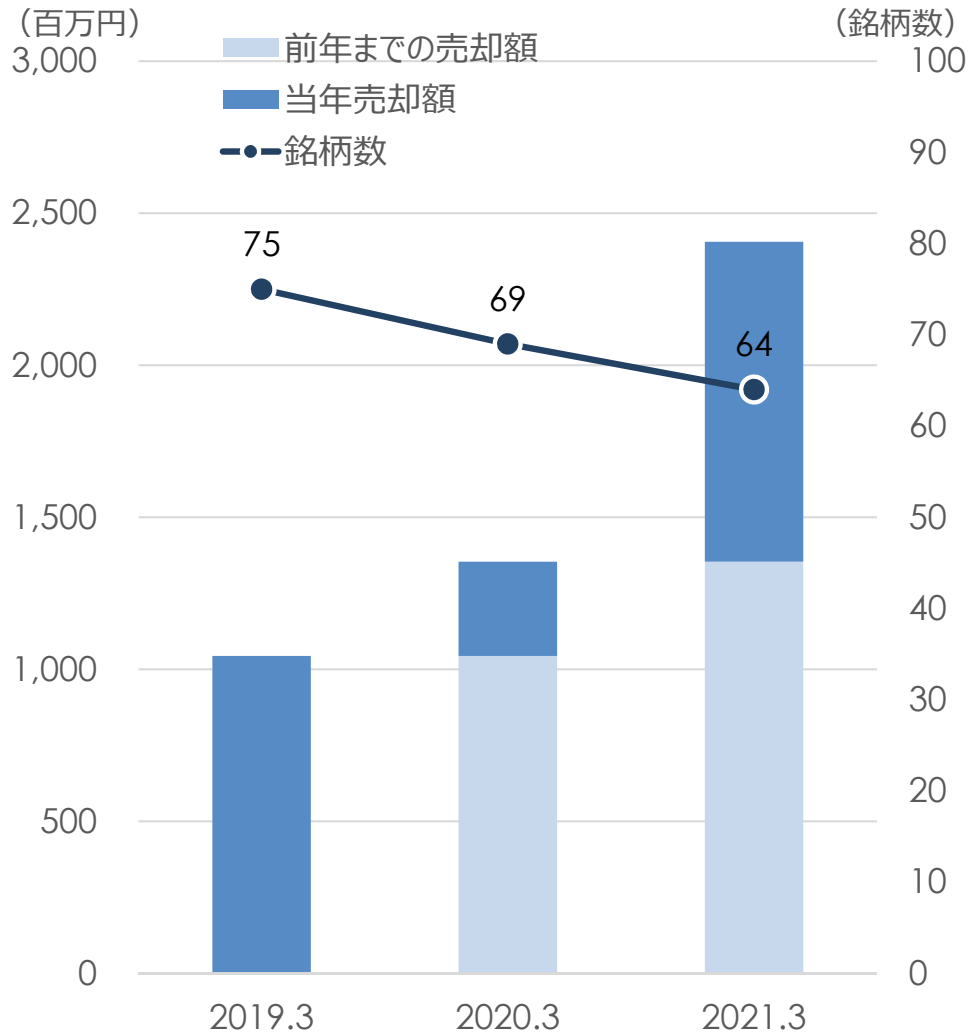
コロナ禍における手元資金の確保により、総資産は103億円増加し1,328億円

(億円)

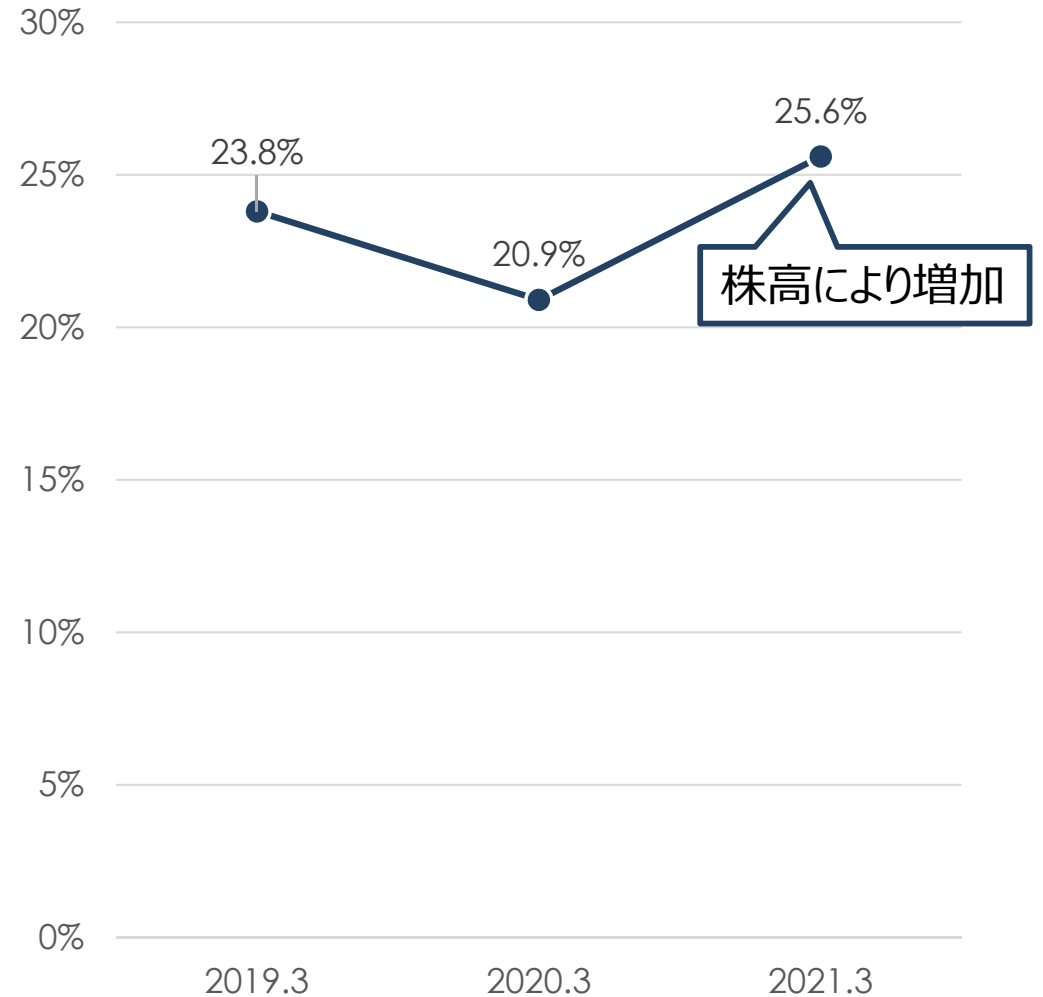
	20.3期末	21.3期末	差額		20.3期末	21.3期末	差額
流動資産	586	673	87	流動負債	449	510	61
(現預金)	116	179	62	(買入債務)	220	233	13
(売上債権)	310	324	13	(短期借入金)	153	188	34
(在庫)	114	134	19	固定負債	110	117	6
固定資産	638	655	16	(長期借入金)	50	46	△ 3
(有形固定資産)	465	438	△ 27	純資産	664	701	36
(投資有価証券)	141	182	40	(資本剰余金)	47	47	0
				(利益剰余金)	543	536	△ 6
				(自己株式)	△ 2	△ 2	0
				(評価・換算差額)	47	89	42
資産合計	1,224	1,328	103	負債純資産合計	1,224	1,328	103
				借入金	204	234	30

政策保有株式の売却を進めるも、株高により純資産に占める割合が上昇

保有銘柄数と政策保有株式の累計売却額



政策保有株式の純資産に占める割合



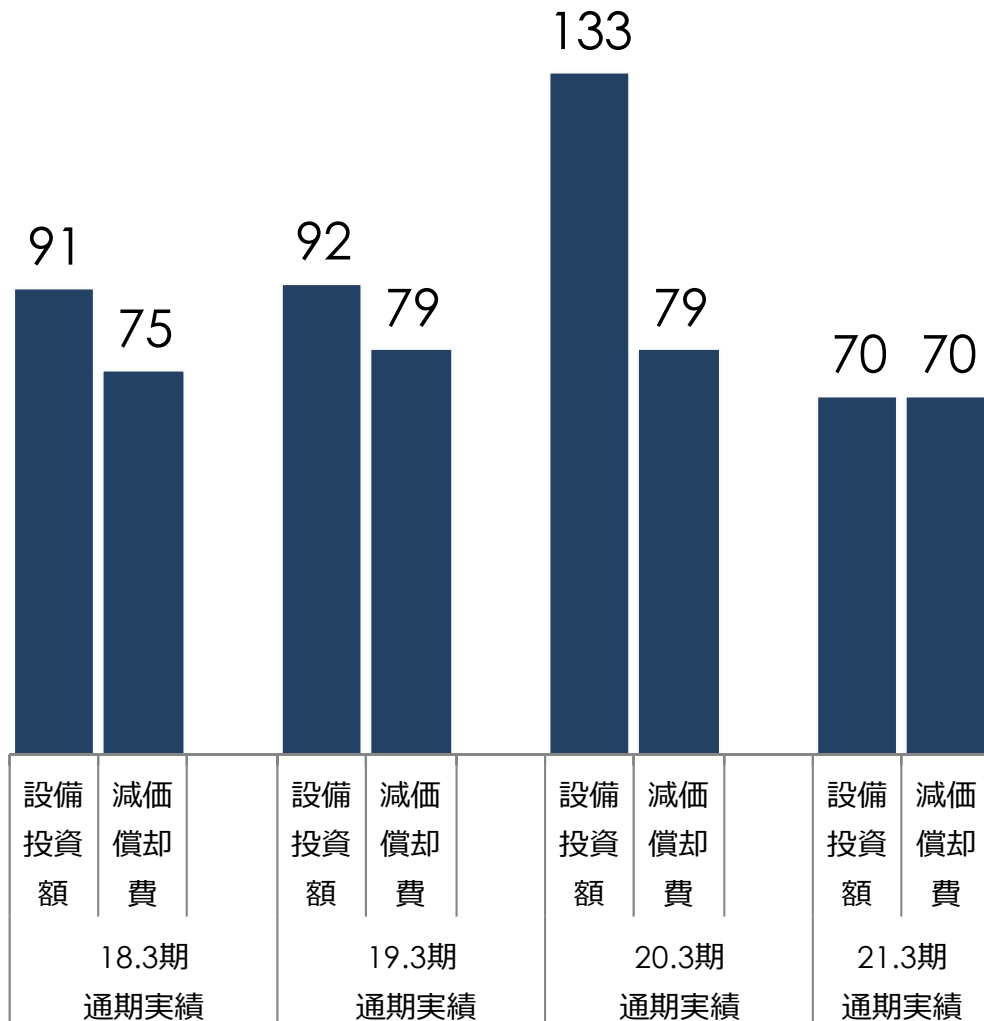
フリーキャッシュフローはプラスを確保

(億円)

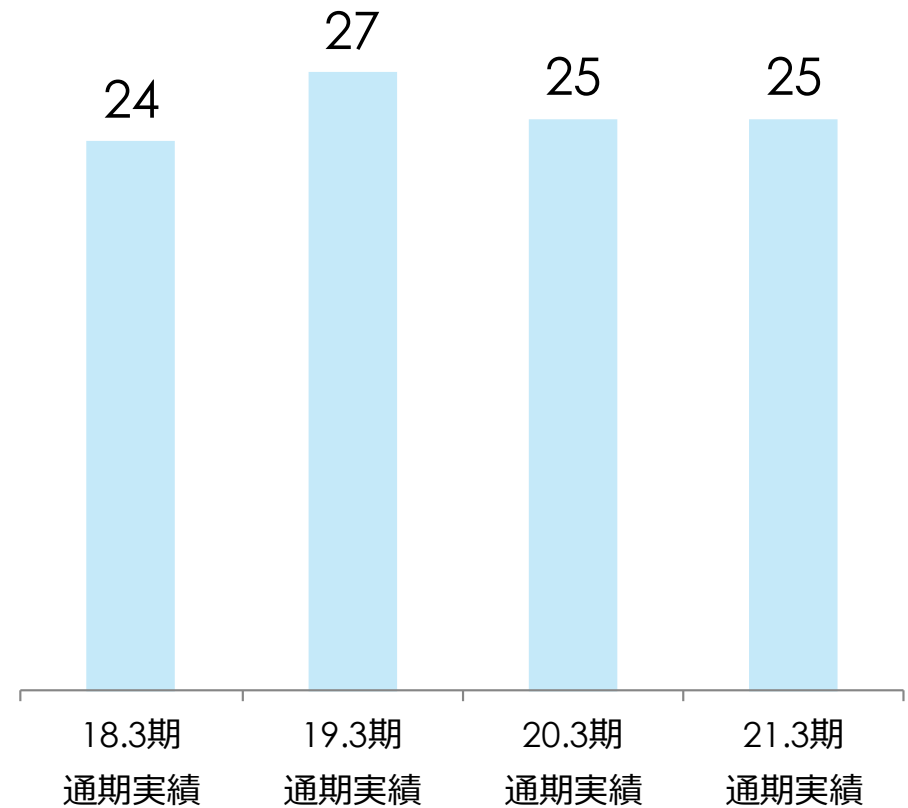
	20.3期 実績	21.3期 実績	差額
営業活動によるキャッシュフロー	60	96	36
投資活動によるキャッシュフロー	△128	△ 52	75
フリーキャッシュフロー	△68	44	112
財務活動によるキャッシュフロー	△1	16	17
現金及び現金同等物の増減額	△72	62	135
現金及び現金同等物期末残高	116	179	62

大型投資は一巡し、設備投資額は減少、研究開発費は横ばい

設備投資額・減価償却費(億円)



研究開発費(億円)



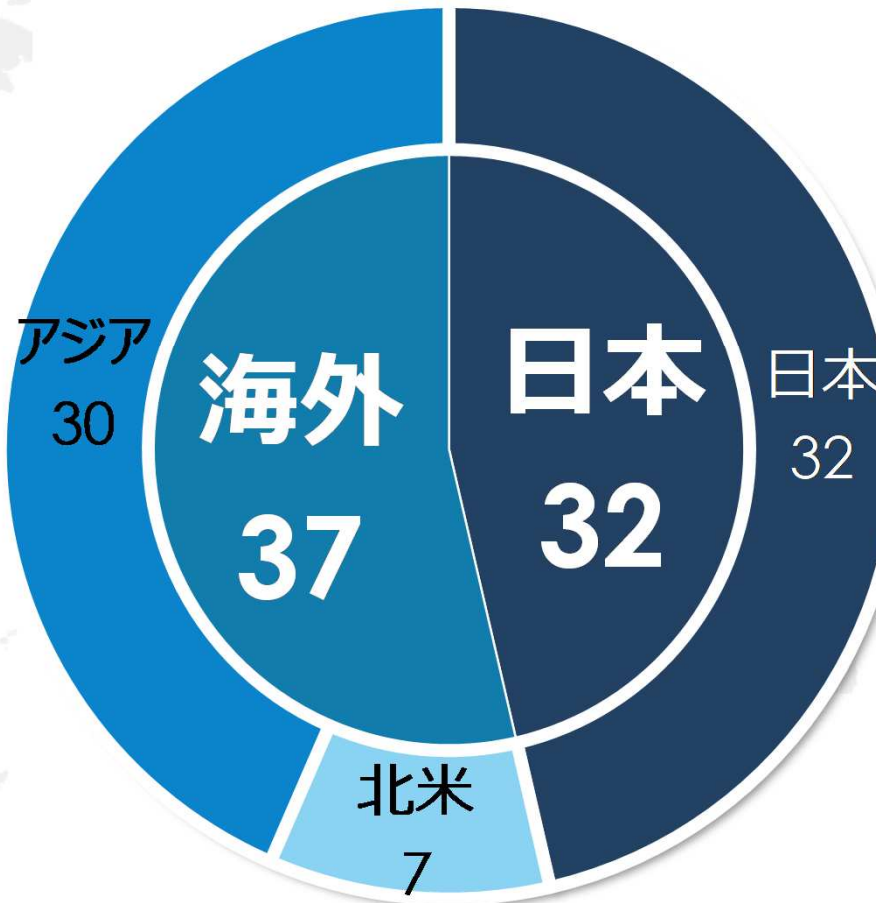
新機種の金型や既存施設の増築・メンテナンスが中心

▼広州森六塑件有限公司
増築+立体倉庫



▲Moriroku Technology (Thailand) Co.,Ltd.
工場拡張

設備投資額 70億円



▼森六テクノロジー株式会社
新機種金型等



▲四国化工株式会社
新工場 クリーンルームの様子

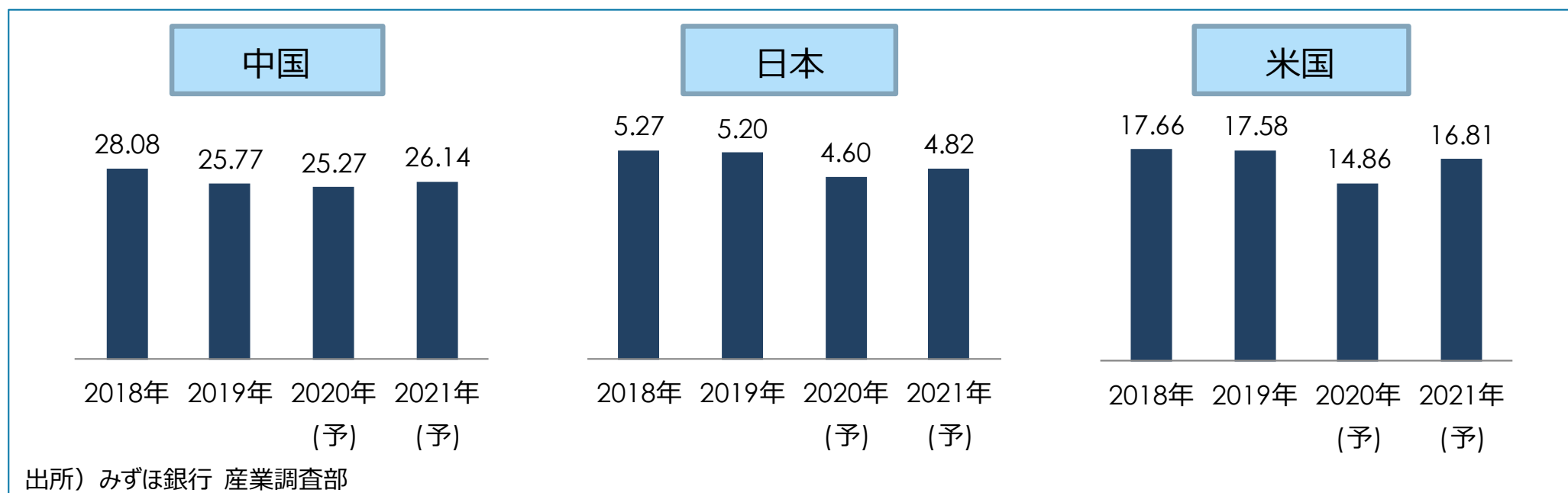
4. 2022年3月期 見通し



■ 想定レート

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想
為替(円/\$) 【期中平均】	106.1円	105.0円
為替(円/中国元)【期中平均】	15.5円	16.4円
klあたりナフサ価格(円/kl)【期中平均】	31,300円	36,000円

■ 主要市場での自動車販売台数推移 (百万台)



コロナからの生産回復と体質改善を織り込み、2019年度、2020年度比で増収増益
半導体供給が安定した後は、挽回生産を見込む

(億円)

	21.3期 実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,554	1,430 ※ 1,850	- -	- -
営業利益	56	81	24	42.8%
営業利益率	3.6%	5.7%	-	-
経常利益	55	80	24	43.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	3	52	48	-
EPS(円)	22.68円	313.81円	291.13	-
一株配当(円)	50.00円	94.00円	44.00	88.0%

- 注1) 22.3期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用する予定であり、22.3期は、当該基準に基づいた予想となっております。
そのため、21.3期実績に対する売上高の増減率は記載しておりません。
- 2) ※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

収益認識に関する会計基準の適用によりケミカルの売上高が減少するも、利益影響はなし

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,554	1,430	-	-
		※ 1,850	-	-
樹脂加工製品事業	933	1,120	-	-
		※ 1,120	-	-
ケミカル事業	621	310	-	-
		※ 730	-	-
営業利益	56	81	24	42.8%
樹脂加工製品事業	45	65	19	41.9%
ケミカル事業	13	18	4	29.5%

注1) 22.3期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用する予定であり、22.3期は、当該基準に基づいた予想となっております。

そのため、21.3期実績に対する売上高の増減率は記載しておりません。

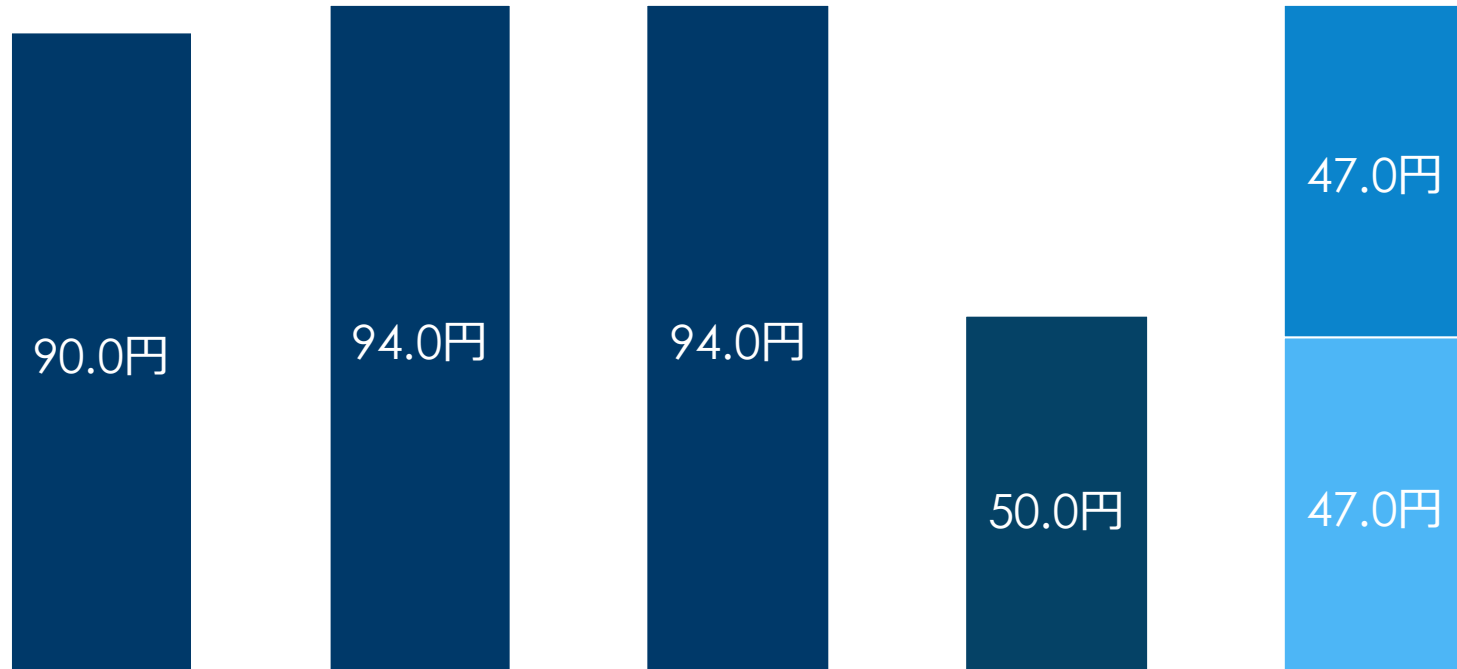
2) ※は「収益認識に関する会計基準」等を適用しない場合の売上高（参考）となります。

地球環境に配慮した投資や研究・開発に注力

(億円)

	21.3期 通期実績	22.3期 通期予想		
			増減額	増減率
設備投資額	70	115	45	65.1%
減価償却費	70	81	10	14.4%
研究開発費	25	27	1	6.6%

年間配当94.0円、配当性向30.0%の見通し



	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期予想
一株配当	90.0円	94.0円	94.0円	50.0円	94.0円
配当性向	20.2%	25.4%	44.2%	220.5%	30.0%



5. 參考資料

財務ハイライト①

(百万円)

【連 結】	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
売上高	172,224	170,005	182,177	189,554	170,773	155,460
YoY	6.9%	△1.3%	7.2%	4.0%	△9.9%	△9.0%
売上原価	151,436	149,212	157,633	164,813	149,556	136,092
売上総利益	20,788	20,792	24,543	24,740	21,217	19,367
YoY	—	0.0%	18.0%	0.8%	△14.2%	△8.7%
ratio	12.1%	12.2%	13.5%	13.1%	12.4%	12.5%
販管費	14,485	14,468	15,125	16,054	15,720	13,694
YoY	—	△0.1%	4.5%	6.1%	△2.1%	△12.9%
ratio	8.4%	8.5%	8.3%	8.5%	9.2%	8.8%
営業利益	6,303	6,323	9,417	8,686	5,497	5,672
YoY	—	0.3%	48.9%	△7.8%	△36.7%	3.2%
ratio	3.7%	3.7%	5.2%	4.6%	3.2%	3.6%
営業外収益	602	556	616	863	796	689
営業外費用	829	894	778	722	625	766
経常利益	6,076	5,985	9,256	8,827	5,668	5,595
YoY	△2.4%	△1.5%	54.6%	△4.6%	△35.8%	△1.3%
ratio	3.5%	3.5%	5.1%	4.7%	3.3%	3.6%
特別利益	59	92	160	1,003	480	1,878
特別損失	570	2,693	267	1,188	574	4,878
税前利益	5,565	3,384	9,149	8,642	5,574	2,596
YoY	△7.7%	△39.2%	170.4%	△5.5%	△35.5%	△53.4%
ratio	3.2%	2.0%	5.0%	4.6%	3.3%	1.7%
法人税等	2,164	2,255	2,245	2,658	1,945	2,117
当期純利益	3,320	1,026	6,805	6,112	3,525	375
YoY	△15.5%	△69.1%	563.3%	△10.2%	△42.3%	△89.3%
ratio	1.9%	0.6%	3.7%	3.2%	2.1%	0.2%
【連 結】	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
営業活動によるキャッシュフロー	12,967	9,880	15,388	18,358	6,042	9,693
投資活動によるキャッシュフロー	△ 14,584	△ 10,912	△ 8,819	△ 7,186	△ 12,857	△ 5,260
財務活動によるキャッシュフロー	2,297	2,191	1,562	△ 9,016	△ 112	1,633
現金及び現金同等物の増減額	388	1,020	8,287	1,716	△ 7,254	6,279
現金及び現金同等物期末残高	7,573	8,902	17,190	18,906	11,653	17,933

(百万円)

【連結】	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
流動資産	54,120	56,502	67,716	65,921	58,624	67,360
(現預金)	7,639	8,968	16,789	18,566	11,681	17,947
(売掛金)	32,125	33,401	36,459	33,475	31,097	32,428
(貸倒引当金)	△ 60	△ 53	△ 46	△ 26	△ 12	△ 12
固定資産	57,985	61,538	65,572	62,141	63,869	65,527
有形固定資産	41,466	42,720	43,619	42,545	46,546	43,807
無形固定資産	804	773	839	990	1,004	1,003
投資その他の資産	15,714	18,044	21,113	18,605	16,318	20,715
(投資有価証券)	14,738	16,654	19,371	16,447	14,186	18,254
資産合計	112,105	118,041	133,289	128,063	122,493	132,887
	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期	21.3期
流動負債	43,388	44,756	50,792	48,561	44,933	51,049
(買掛金)	22,727	21,647	24,552	23,440	19,801	21,052
固定負債	16,839	19,761	15,825	12,060	11,092	11,701
負債合計	60,227	64,517	66,617	60,622	56,025	62,750
株主資本	43,309	43,886	54,769	58,584	60,487	59,824
(資本金)	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640
(利益剰余金)	41,595	42,172	48,644	52,459	54,307	53,638
評価・換算差額等	7,484	8,445	10,619	7,714	4,741	8,989
純資産額	51,878	53,523	66,672	67,440	66,467	70,136
負債純資産合計	112,105	118,041	133,289	128,063	122,493	132,887
ROE	6.5%	2.0%	11.6%	9.3%	5.4%	0.6%
自己資本比率	45.3%	44.3%	49.1%	51.8%	53.3%	51.8%

【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。